

## 2025年度 第3回 スタートアップ助成 対象事業決定のお知らせ

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京は、東京の芸術文化の魅力を向上させ、世界に発信していく創造活動や、地域の文化や伝統芸能の振興、社会や都市の様々な課題に取り組む芸術活動を支援しています。このたび、2025年度第3回スタートアップ助成の対象事業を決定しました。

208件の申請があり、54件を採択しました(採択率 26%)。助成予定総額 31,355千円です。

### ■ 2025年度 第3回 スタートアップ助成 申請・採択件数

	申請件数		採択件数	
	個人	団体	個人	団体
音楽	16	31	6	7
演劇	19	40	5	8
舞踊	2	12	2	3
美術・映像	34	18	7	2
伝統芸能	2	6	1	2
複合	19	9	9	2
合計	92	116	30	24

・対象期間:2026年5月1日以降に開始し、2027年4月30日までに終了する事業

### ■ 2025年度 第3回 スタートアップ助成 採択事業 一覧

申請 208 件、採択 54 件

活動分野	活動内容	団体/ 個人	申請者名	申請事業名	交付決定額 (千円)
音楽	都内での 芸術創造 活動	団体	プラットフォーム	プラットフォーム #03 世界に伍するシンフォニエッタ	1,000
			HAPPY UNDERGROUND!!!	ソリチュード・インフィニティ	755
			株式会社しろばら百藝社	特殊秘宝館	1,000
			にゃにゃ経	にゃにゃ経第2回演奏会：斉芸瑛2台ピアノ作品個展	1,000
			ÆBifryer Barockorchester	「愛するものはみな戦士」～働く企業戦士たちの愛と闘いのマドリガーレ～	1,000
			under-pass	under-pass meets Tokyo (仮)	1,000

活動分野	活動内容	団体/ 個人	申請者名	申請事業名	交付決定額 (千円)	
音楽	都内での 芸術創造 活動	個人	多胡宏音	多胡宏音 マリンバ・リサイタル 2026	300	
			鈴木崇弘	鈴木崇弘室内楽シリーズ アンフォルメル vol.5 もののあはれを聴く	300	
			粟谷明菜	歴史的バセットホルンによる「モーツァルト：ディヴェルティメントK439b」全曲演奏会 -原典にひそむモーツァルトの遊び心-	300	
			西村和	西村和 打楽器リサイタル	300	
			Kani Ningen	出さない手紙を書くこと	300	
	国際的な 芸術創造 活動	団体	幽けき刻	幽けき刻ヨーロッパツアー	1,000	
		個人	ビリージーン	グラント・ビリージーン イタリア国際ジャズフェスティバル招聘公演	300	
演劇	都内での 芸術創造 活動	団体	Same Boat	いーはとーぶ・ろまん	1,000	
			反芻動物	反芻動物『マッチ売りの少女』『不思議の国のアリス』同時上演	1,000	
			劇的謝罪集団ヒタイピタンコ	この度はごめんねvol.4	1,000	
			喘粘齡	喘粘齡第二回公演『にっちもさっちもいかなんDER in TOKYO』	700	
			ナボンダフ	(仮) 恋と愛の話	1,000	
			あくびがうつる	ひとものがたり	1,000	
			無駄な部屋	2026年度無駄な部屋シリーズ公演	252	
			Mavolatory	Mavolatory第四回公演「バックアップ・ボーイズ」(仮)	1,000	
		個人	端菜里	端菜里と高熱『Vol.2』(仮)	300	
			志知佳保	ひとみの会『ふたつの虹』	300	
			伊藤麗	LOVE YOU ALL元年	300	
			小日向雪	つちふむず 旗揚げ公演(仮)	300	
			野月敦	Theatre in Opposition 第一回公演『盗まれた幸せ』	300	
			団体	トビランジェラ	トビランジェラ第3回単独公演「sit down and do」(仮)	1,000
				EuRa	観戦型ダンス公演「Organized Play」	1,000
個人	中村瑞乃	中村瑞乃 新作ソロ公演「cold. 」	300			
	井上哲	A-ka*Tetsu dance stream01	108			
国際的な 芸術創造 活動	団体	一般社団法人パフォーミングアーツ協会	鬼の往来 - Ritual Exchange : Dokkaebi × Namahage☒	1,000		

活動分野	活動内容	団体/ 個人	申請者名	申請事業名	交付決定額 (千円)
美術・映像	都内での 芸術創造 活動	団体	ソフトハウス三ノ輪	こねられた粘土のマインド=家へ	1,000
			Noema Lab	NOEMA / NOESIS : Membrane — 知覚と認知の現象学的 リサーチ	1,000
		個人	林田真季	林田真季個展	300
			向井ひかり	白、眩しい金 (仮)	300
			上川桂南恵	個展「魚が猫を追いかける(仮)」の開催	300
			侯米蘭	Where Is the ME Manual? (暫定)	300
			野村知一	「フクシマノオト」三作品上映会	300
	古山寧々	非人間の鑑賞者を想定した微視的演劇作品の制作と発表(仮)	300		
	国際的な 芸術創造 活動	個人	竹村優里佳	Festival des Architectures Vives 2026 (FAV2026)	300
	伝統芸能	都内での 芸術創造 活動	団体	菊地梯子委嘱作品による 十七絃箏演奏会実行委員会	菊地梯子委嘱作品による十七絃箏演奏会vol.2
わろてな狂言会				わろてな狂言会	1,000
個人			沢井麗	第2回沢井麗箏リサイタル	300
複合	都内での 芸術創造 活動	団体	佐藤真文庫	アーカイブが映し出す佐藤真の眼差しとの対話	1,000
		個人	かとうりな	かとうりな×Ruki kojima 「わたしの時間、あなたの時間」	300
			尾田直彪	嵐を呼べ！尾田直彪活弁上映会 特別篇2	300
			五十嵐千紘	そして花火のように	300
			敷地理	無窮花	300
			加藤綾子	アィム・ミート！ 東京公演	300
			高橋侑大	Heteroscheme	150
			Ikebana whispering	Ikebana whispering	290
			どこへ/do ko e	どこへ / do ko e 【2】	300
	濱口啓介	ポシロ舎『おとのたしなみ (仮) 』	300		
国際的な 芸術創造 活動	団体	傷痕実行委員会	傷痕	1,000	

## ■ 2025年度第3回 スタートアップ助成 採択結果の概況

スタートアップ助成は、東京の芸術シーンで活動を展開していこうとする新進の芸術家や芸術団体等がチャレンジする新たな芸術活動を支援する助成プログラムです。2025年度第3回の本公募では、208件の申請があり、54件の採択となりました。申請件数は、前回(2025年度第2回)の192件より増加しました。また、申請件数に対する採択件数の割合は、今年度で最も高くなり、26%となりました。

今回の公募でも、申請者名と主催名義等の不一致、所在地確認書類や収支予算書の不備などが多く見られました。申請者名、主催名義、団体申請においては定款・規約等の名称が一致していることが必須要件となりますのでご注意ください。また、団体申請で申請団体名義での過去実績がない場合、要件不備となります。申請フォームの入力が終わっても、再度入力内容を見直し、アップロードしたファイルも間違いがないかのチェックを行ってから提出ボタンを押していただくようお願いします。締切が迫ると内容の確認が甘くなることも考えられますので、締切までに余裕を持った申請書作成のスケジュールをご検討ください。

なお、展示物、制作物等の販売活動を主な目的としているため助成対象とならない事業の申請も見受けられました。事前に要件を十分ご確認の上、ご申請くださいますようお願いいたします。

当助成プログラムでは、事業内容が明確であり、実現にあたっての予算やスケジュールが適切に計画されている事業を助成対象としています。年 3 回の公募を行っておりますので、事業の具体性や実現性を明確にして、適切な時期にご申請いただきますようお願いいたします。

申請書の作成にあたっては、公募ガイドラインや Q&A を事前によくご確認ください。ご不明な点がありましたら、お電話、「お問い合わせフォーム」での問い合わせや公募説明会での質問も受け付けておりますのでどうぞご利用ください。

## ● 音楽分野

音楽分野では、47 件の申請があり、うち 13 件が採択に至りました。現代音楽を中心として、古楽やジャズ、即興・実験音楽、サウンドインスタレーションなど、多様なジャンルで活動する申請が採択されています。採択されたのはいずれも、申請者のこれまでの活動実績を踏まえた上で、新たな挑戦となる事業内容が具体的に提示されている申請でした。現代音楽や古楽では、企画のテーマが明確に示され、その実現のためのプログラミングや取り組みが掘り下げられている事業が採択されました。また、ジャズや即興演奏を主軸とした団体による新たなチャレンジとして位置づけられた海外事業も、複数採択に至っています。一方で、芸術上の挑戦の内容が示されておらず、教育普及や販売促進を主な目的とする事業、予算計画が適正でない申請は、採択に至りませんでした。また、所在地確認書類や主催名義の要件不備により、不採択となった申請も複数見られました。公募ガイドラインの「審査の観点」を踏まえ、事業内容や予算計画が適切に組み立てられているかをいま一度ご確認の上、ご申請ください。

## ● 演劇分野

演劇分野では 59 件の申請があり、13 件が採択となりました。観客数の拡大や鑑賞体験の深化は、多くの申請事業に共通する課題意識として見られましたが、採択事業ではその解決に向けた具体的な実施計画が策定されていました。申請者独自の課題意識が、作品の内容やテーマのみにとどまらず、創作のプロセス、広報計画、空間設計など、事業全体に一貫性をもって反映されていたことも特徴のひとつです。また、ジェンダーや世代、国や文化の違いに起因する現代社会におけるコミュニケーションの齟齬や違和感を創作の起点とし、上演に対し、一義的な理解に終始せず、複数の解釈を可能とする申請が採択に至りました。一方で、申請者のこれまでの活動の上でのチャレンジ性、先行世代の実績に対する独自性を明確に読み取れない申請は、採択に至りませんでした。運営体制の面で事業の実現性を判断できなかった申請も採択に至っていません。今回不採択となった事業でも、申請要件を満たしていれば同一事業での再申請は可能です。事業内容をよく練った意欲的な申請をお待ちしております。

## ● 舞踊分野

舞踊分野では、14 件の申請があり、5 件が採択に至りました。申請のあったジャンルは、コンテンポラリーダンスが最も多く、次いでクラシックバレエ、舞踏、民族舞踊などの申請がありました。今回採択された事業は、新たな身体表現を生み出すことやダンスの概念を拡張することを目的とした独自性の高いものや、大きなチャレンジでなくとも申請者にとって切実な課題に向き合うための計画が十分に練られた事業です。なお、申請団体名義での過去実績がない場合や、申請者と異なる名義で実施する事業などは要件不備となりますので、公募ガイドラインをよくご確認ください。

近年、ダンスをわかりやすくすることを目的とした申請が一定数見られます。わかりやすさの答えを安易に出そうとせず、自身の目指すダンスを掘り下げ、より深化した事業内容での申請をお待ちしております。

## ● 美術・映像分野

美術・映像分野では、52 件の申請があり、9 件が採択となりました。異なるメディアで活動するアーティスト・研究者による協働において、お互いのメディアへの干渉や接続を糸口として立ち上げたもの、またメディアや展示形式そのものを問い直す試みなどが採択に至っています。海外での発表を含む事業については、挑戦性が高く分野への波及効果も期待できる 2 件の事業が採択に至りました。一方、作家情報や展示プランは示されていてもコンセプトが明確でないもの、逆にテーマやコンセプトのみ示され作品やイベント計画の具体性に欠けるものなどは不採択となっています。また、不採択となった事業の約 3 分の 1 が要件不備で、団体申請において「過去の活動内容を示す資料」内に申請団体名と同一の名義が確認できないもの、申請者と主催者が一致していないもの、収支予算書の不備、制作のみで公開活動が示されていないもの、作品販売のある事業などがこれに該当しました。自身の団体や申請する事業が助成対象となるか、必ずガイドラインを確認した上でご申請ください。

## ● 伝統芸能分野

伝統芸能分野では、8 件の申請があり 3 件が採択に至りました。これまでに比べ多様な種目からの申請があり、複数種目や他分野との横断的な事業も複数申請がありました。採択に至った事業はいずれも個人や団体における課題や目標を起点とした独自性、チャレンジ性が高い内容で、さらに具体的な実施計画が練られているものです。一方、採択に至らなかった申請には、過去の活動実績やその内容が十分確認できないものが複数ありました。ご申請の際にはガイドラインをご参照の上、過去の活動内容がよくわかる資料や音源、映像等をご提出ください。ご不明な点がありましたら、お電話、「お問い合わせフォーム」での問い合わせや公募説明会での質問も受け付けておりますのでどうぞご利用ください。

スタートアップ助成の伝統芸能分野への申請数はやや減少傾向です。ご自身の活動の中で感じられた課題や関心から発想を広げ事業をご検討くださいますようお願いいたします。意欲的なご申請をお待ちしております。

## ● 複合分野

複合分野では、28 件の申請があり、今年度で最も多い 11 件が採択となりました。今回は、分野の領域を横断した意欲的かつ実験的なコラボレーション企画、分野における従来の手法を疑い新しい取り組みを試みるもの、海外の発表を含む事業などが、事業内容の独自性・チャレンジ性の点で評価され、採択に至っています。中でも音楽や音に関わるアーティストが参加するものが 9 件あり、美術、映像、ダンス、ジャグリング、レクチャーパフォーマンス、書、生け花など、多様な領域と掛け合わせた事業が採択されました。その他、活弁や資料アーカイブの展示を含む上映会が 2 件採択に至っています。一方で、芸術創造活動を主な目的としないもの、複合的な創作の手法やプロセスが具体的に読み取れない申請は不採択となっています。また、助成対象にならない経費が含まれるもの、団体の実績資料で申請団体の名義が確認できないなどの不備も散見されました。

## ■ 審査プロセス

以下の審査プロセスによって、採択を決定しています。

提出された申請書類をアーツカウンシル東京が精査し、事前調査や外部有識者の意見を踏まえて助成課長が評価案及び採択原案を取りまとめます。その後、アーツカウンシル東京機構長の審議を経て、公益財団法人東京都歴史文化財団が決定します。

**2026 年度 第 1 回 スタートアップ助成の申請受付期間は 2026 年 4 月 21 日(火)10 時～5 月 21 日(木)18 時です。**

助成対象期間は 2026 年 9 月 1 日以降に開始し、2027 年 8 月 31 日までに終了する事業となります。

詳細はアーツカウンシル東京のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.artscouncil-tokyo.jp/grants/startup-grant-program/>

<本事業に関するお問い合わせ>

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 活動支援部助成課 担当:玉虫、西本  
TEL : 03-6256-8431 E-mail : startup@artscouncil-tokyo.jp

<本リリースに関するお問い合わせ>

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 企画部広報課 広報担当:長澤、柳生  
TEL : 03-6256-8432 E-mail : press@artscouncil-tokyo.jp

**<https://www.artscouncil-tokyo.jp/>**